

\*\*\*\*\*

溶接学会便り No. 15

2017年1月16日

\*\*\*\*\*

溶接学会会員様

会員番号：〇〇〇〇〇〇〇

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、当学会の活動にご尽力、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「溶接学会便り No. 15」が発刊となりましたので、お届け致します。

なお、本メールは一般社団法人溶接学会会員で、E-mail アドレスをご登録  
頂いている方にお送りしています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

---

◆溶接学会のHPはこちらです。

<http://www.jweld.jp/>

---

【目次】

1. 溶接界発展のための日本溶接会議（J I W）の改組と日本溶接協会との  
共同事業の開始について
  2. Mate2017  
第23回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム
  3. 「インフラ溶接構造物の維持管理のための評価技術の展開」ミニ研究会 会員募集
  4. 【重要】学生員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について
  5. 溶接学会主催行事予定について
  6. 【重要】会員専用ページ「マイページ」開設について
- 

1. 溶接界発展のための日本溶接会議（J I W）の改組と日本溶接協会との  
共同事業の開始について

当会と一般社団法人日本溶接協会は、両団体で運営を図ってきた日本溶接会議（J I W）を改組し、国際溶接学会（I I W）の対応を充実させるとともに高い見地から当会及び日本溶接協会の共同事業を推進することを両団体の理事会において承認しました。10月1日から順次活動を開始いたします。

近年、中国等における現地生産コストの上昇等により製造の日本への国内回帰が一部で顕著になるとともに、2020年の東京オリンピック需要やインフラ投資等により国内の建築鉄骨部門は好調な状況にあります。これらを背景に溶接関係者の不足は顕著になってきて

おり、日本溶接協会が実施する溶接管理技術者や溶接技能者の受験者数は昨年度より増加に転じております。然しながら地方を中心とした溶接教育関係者の減少は深刻で必要な溶接教育を十分に実施できない状況にあるため、新規受験者の合格率低下が顕著となっております。世界的に特殊工程と類される溶接は、認証による品質維持が必須であり、このままでは世界をリードする日本の工業製品の基盤技術である溶接の品質を維持することが難しくなることが懸念されます。

その中で溶接界における研究者数の減少は、3Dプリンタ（Additive Manufacturing、積層造形）や超高張力鋼の溶接など最先端の研究に関する競争力を低下させるものとなります。また、地方を中心とした教育研究者の減少は溶接研究だけでなく溶接教育そのものの機会と質を低下させるものとなります。

以上のように溶接界が直面している危機的状況に鑑み、当会と日本溶接協会は溶接界の発展のために一致協力して取り組むことといたしました。

具体的には日本溶接会議（J I W）を従来のI I W対応に加えて、当会と日本溶接協会が共同推進が必要な企画を幅広い視点から立案する組織に改組するものです。共同企画立案のためJ I Wに共同企画委員会を設置し、当会の企画委員会と日本溶接協会の総合企画会議とが連携し、溶接界発展のための新たな取組みを立案・実行するものです。

本案は9月6日にJ I W理事会、9月14日に当会理事会、9月28日に日本溶接協会理事会において承認を得たため、新体制に10月1日より移行してまいります。

去る12月にJ I Wの共同企画委員会委員を選任し、今後具体的な活動案作成を開始する計画です。

## 2. Mate2017

第23回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム

主催：（一社）スマートプロセス学会 エレクトロニクス生産科学部会

（一社）溶接学会 マイクロ接合研究委員会

開催日：平成29年1月31日（火）～2月1日（水）

場所：パシフィコ横浜 会議センター（横浜市）

詳細・参加申込・問合せ：下記Mate2017のHPをご参照ください。

<http://sps-mste.jp/mate2017/src/index.html>

## 3. 「インフラ溶接構造物の維持管理のための評価技術の展開」ミニ研究会 会員募集

趣旨：経年化、老朽化が進行する社会インフラを適切に維持管理し長期的に供用していくことは、安全・安心な国民生活を担保するために不可欠な課題となっております。

本研究会では、橋梁、ライフライン（水道、ガス）、港湾施設などのインフラ溶接

構造物の点検、補修補強を含めた維持管理のための各種評価技術に関する最新研究の紹介、技術動向のレビュー、維持管理現場の現状および将来的な課題、ニーズに関する調査を行います。各要素技術と現場のニーズとのマッチングを図り、インフラ溶接構造物の維持管理に関する新しい研究分野の開拓に繋がる情報交換、ネットワーク形成の場とすることを目的としますので、関心のある若手研究者・技術者の方は、ご参画ください。

詳細・申込・問合せ：溶接学会 HP をご参照ください。

<http://www.jweld.jp/>

#### 4. 【重要】学生員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について

溶接学会では、ご承知のとおり J-STAGE による学会誌、論文集、全国大会概要集の電子版による公開閲覧を鋭意進めて参りました。

この度、平成 29 年 4 月から学生員については、学会誌の冊子送付を廃止し、J-STAGE 電子版を閲覧いただくことになりました。(平成 28 年 12 月 19 日理事会決議)

溶接学会誌の J-STAGE 電子版は、会員特典を考慮し、発刊後 5 年以内は会員限定閲覧で、5 年より以前のもので一般公開となります。

したがって、学会誌の J-STAGE 電子版を閲覧いただくには、「会員閲覧認証登録」が必要です。

つきましては、必ず「マイページログイン」(溶接学会 HP 右上) から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。

なお、学会誌掲載の会報・会告につきましては、溶接学会 HP にて、閲覧できるようにいたします。

#### 5. 溶接学会主催行事予定について

溶接学会本部、支部を含め、全国大会、シンポジウム、研究発表会、講演会、講習会、研修会、見学会など溶接学会主催の公開行事の予定を溶接学会ホームページに掲載していますので、ご参照ください。

溶接学会 HP 「イベント情報」 → 「溶接学会主催行事予定」 をクリックして下さい。

URL は、 <http://www.jweld.jp/event/pdf/event-main-calendar.pdf>

#### 6. 【重要】会員専用ページ「マイページ」開設について

溶接学会の個人会員様には、平成 27 年 7 月初旬に「会員専用ページに関する重要なお願い」を郵送させていただいています。必ずご一読ください。

溶接学会では会員サービスの一環として、個人会員様を対象とした会員専用ページ「マイページ」を開設しています。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、会費納付、技術情報の閲覧登録等各種サービスのご利用が可能となります。

まずは、郵送のマニュアル「初回ログイン時にしていただくこと」をご参考に、マイページにアクセスしていただき、下記の操作（約5～10分）をお願いいたします。

①ログイン → ②会員情報確認・変更 → ③パスワード変更 → ④マイページ内の完了ボタン（会員情報等変更の有無にかかわらず必ず押してください）

なお、マイページの URL は、member.jweld.jp/mypage ですが、溶接学会 HP からでもログインできます。

会員番号とパスワードは、大切にお控えください。

また、E-mail アドレスは、重要な連絡や ID 等として必須となりますので、会員ご本人様が常時ご使用の PC 用 E-mail アドレスを必ずマイページにご登録ください。

（マイページに登録された E-mail アドレスが正しいかご確認ください）

ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

- ◆発信専用アドレスのため、本メールアドレスには、返信できません。
- ◆お問合せは、下記のメールアドレスをお願い申し上げます。
- ◆配信の停止をご希望される場合は、会員専用ページ「マイページ」の会員情報変更でメールマガジンを「希望しない」にマークしてください。

\*\*\*\*\*

一般社団法人溶接学会 事務局

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町 4 丁目 20 番地

溶接会館 6 階

TEL: 03-5825-4073 FAX: 03-5825-4331

Email: [ishimaru@tg.rim.or.jp](mailto:ishimaru@tg.rim.or.jp)

\*\*\*\*\*